NO.2 (通算 NO24)

2022 • 1 • 1

事務局だより

一般相思人
示現会

事務所 🕾 03-3824-9128

○ 支部長挨拶

裏面 ○<特集> 支部長挨拶 ちょっと待って!

第2号も新しい年、2022年に向けた支部長の言葉になりました。 今年度、2つの支部が支部長の交代ということで退任の挨拶もかねて新年の言葉になりました。長年に亘り、示現会でのご活躍、また支部の活動でのまとめ役として大任を果たされた和歌山中村支部長、岐阜山田支部長に感謝申し上げます。ありがとうございます

新しい年に寄せて・支部長挨拶



愛知支部の紹介 愛知支部 小島兼一

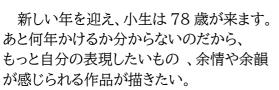
愛知支部は現在、愛知・三重・静岡の 三県から、会員 15 名・準会員 7 名・ 会友 4 名・一般 18 名で構成されてい ます。その中から本展に 37 名の方々



が出品しました。愛知県美術館で開催する巡回展には、本部からの作品と併せて 100 点ほどの展示をして盛大に行われ、コロナ禍にもかかわらず 2100 人を超える入場者(コロナ前は5000 人ほど)となり、大変好評でした。そして、より良い作品を制作できるように 2 度の研修会を行っております。

毎年支部で愛知支部展(公募)を行っていますが、さらなる認知度を高めるため、第一回三河展を刈谷美術館にて2021年1月26日~31日に開催致しました。1000人近い入場者があり、好評で、新人の発掘にもつながっています。次回は2022年2月15日~20日で同美術館にて開催を予定し準備を進めています。

絵を描いてきて 和歌山支部 中村恵吾

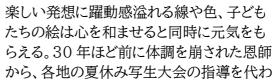




だがきっと出来ない、それがどんな絵か分かっていないから、だから暗中模索、やみくもに塗るだけ、塗っている間に何かが見つかれば最高。

日常は午前中はアトリエ、午後は歩いて20分くらいの標高70Mの秋葉山公園に油絵スケッチに行き、広場場や和歌浦湾の景色を同じ場所、同じ構図で紙に2、3枚描きます。現場を見ながら自分勝手に描いています。出来栄えは気になりますが、秋葉山の神様の了解を得て描いているので知りません。毎日、木のベンチに座って描いているので、お尻にかさぶたができ銭湯や温泉に行けません、冬は手足がしもやけです。先日、地元の小学2年生と一緒に写生しクラス全員から手紙をもらい絵を描いているとこんな嬉しいこともあるのだ!!と感謝です。

最後になりますが、私は健康上の都合により支部長を 辞めさせて頂き、土井敏弘氏が新支部長に就任されま す。よろしくお願い申し上げます。 子供たちの自由な表現から活力をもらう 京都支部 荒井まき子





ってほしいと懇願され今に至っています。 京都の桃山城公園で開催している地域では、幼児から小学校6年生までを対象に校長先生をはじめ PTA 役員各種団体補導委員など50名ほどが子供たちをその都度温かく見守っている。お城を描いたり虫を捕らえて描く子もいる。 なかには絵の苦手な子も参加するので、事前に絵に上手、下手はないことをお話し心を解かし寄り添うようにしている。 保護者には 大人の視点と違うことや、一つの点も一本の線もその子の表現なので、共感しながらお話を聞いてほしいことをお願いする。

子供の絵は結果ではない、そのプロセスで考えながら試行錯誤を楽しむ、これこそが創造の原点だと思う。「出来た」の声があちらこちらから上り始めると、私は日陰にある小さな椅子に座らされる。たちまち長い行列ができる。1 人 1 人のお話を共感しながら聞く、子供達は話すことで描きたいことが湧き出てくるのか「先生もっと描いてきていい?」と それこそが写生会の狙いでもある。

今年も子供達を見習い、プラス思考で京都支部員共々活力のある一年にしたいと念じています。

兵庫支部入会当時から振り返って 兵庫支部 高見雅博



兵庫支部は芹生政夫先生を中心に昭和27年に 設立。今年で70年となります。私が支部に入会さ せて頂いてから40年ほどの年月が経ちます。

入会当時支部総会は芹生先生の自宅で行い、昼は奥様の手料理 もいただきました。作品研究会には公共の施設や、時には広いアト リエのある先生宅をお借りしていました。

2代目支部長故田中昭三郎先生は私費を投じて自宅敷地に研究所を建てられ、私たちに開放してくださいました。 それ以来、長い間支部活動にはこの研究所を拠点として行われました。

本展出品のため梱包用の木枠を組み、そこに作品を入れて発送 したこと。スケッチ旅行を兼ねた家族親睦旅行等懐かしく思い出さ れます。

時は過ぎ行事の見直しなどで活動内容も変化していきましたが、これからも個性を大切にした作品研究と、支部員全員での支部運営を目指せたらと思っています。



支部長の言葉

2022を希望溢れる年に

福岡支部 瀧井利子

私は高校卒業後19回展に初入選。自 慢は結婚出産の中でも1度も休まず続け て 75 周年を迎えることが出来る事。支部

には90歳を迎えようとしている篠原裕輔先生がいらっしゃ り、巡回作品として全国に回っています。日展にも未だ挑戦 して日々の鍛錬をされています。福岡は福岡と北九州の 2 か所の巡回展を担当しています。病気や高齢で続けること が難しくなった方が出てきた今、北九州展の事務局が膳夫 さんから若い角忍さんに引き継がれました。会員数減少傾 向にある中吉報です。

示現会はもう一つの家族です。会を通じて沢山の出会い が生まれ全国に広がっています。

幸せなことです。コロナで一変した環境もきっと朝が来る でしょう。75周年後の80周年はどんな会になっているでし ょう。生きて頑張っていたいものです。

75 周年記念展に向けて 久留米支部 江口 登

令和4年新しい年に「今年こそは」の思い で胸に抱きながらの今…

昨年はコロナ禍感染拡大はあらゆる部門

で影響を及ぼし文化、芸術部門では多くの美術展が中止と なりましたが、74回示現会展は開催することが出来ました。

さて久留米支部は 歴史の「きざみ」によって福岡県では 福岡、久留米の2支部が活動の拠点になっています。 そし て、今どの分野でも高齢化が進み 若い人の参加が少なく なってきているのは、それは人口の減少と情報機能の進 歩によって、いろんな面で人間の生き方が変わってきてい るのでしょうか。そうは言っても私たちは「刻」を止めること なく、「人生に生きがいを求めながら」記念展に向かって素 晴らしい作品を描くことで人々の心に美を発信し、芸術の 旅を邁進しなければならないと思っています。



75周年記念展へ向けて 熊本支部長 小材啓治

熊本支部では11月に阿蘇スケッチ研修会、 12月に75回展出品作の研修会を行いました。

いよいよ本格的に本展出品作の制作に入っていきます。年末 年始の動きで変異株の流行がどのようになるか心配ですが制 作の方は予定通り進めなければなりません。

今回は示現会75周年の記念展ですが熊本支部にとりまし ては支部創立65周年となり、支部公募展も10周年記念展と なります。本来ならば大々的に祝賀会をやるところです。しか し、やるとなれば対外的なこともあり、すでに進行形でなけれ ばなりませんのでやはり難しいようです。

今回は記念画集も発行されます。後々まで記録として残る ものですので特に気合を入れて秀作を 支部員一同

話が来ました。

会展には少し小さい号で出品したい、という

てもらいました。後日、その方から今度の示現

資料を集めています

75周年記念展が開催されるにあたり、示現 会に関する資料を集めています。創立のころの ポスター、入場券、会誌また創立会員の写って いる写真などがありましたら、お貸しください。 また、創立会員の作品をお持ちでしたらお知 らせください。資料として記録したいと思いま 042-753-2790

うのもあります。

確かに、これらの理由では、気力、体力を維

間が取れなくなった、とかご自身が病気、と 中に、描けなくなった、とか、家族の介護で時 みてもよいのでは、と思います。退会の理由の 情があると思います。しかし、もう一度考えて

う一度考えて見ませんか

を描く気持ちが出てくるのではないでしょう をかけてみませんか。状況が変われば、また絵 絵を描くことから離れるのはもう少し時間 ちょっと待って!」みてください。

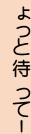
ら出品できますし、その作品をしっかりと会 場に展示しています。 なったら描いてください。示現会は三十号か 今、絵を描く時間のない方は描けるように

況が変われば、又かける時間が持てるように 談をされたことがありました。いろいろと状 間示現会に所属し、 するには大変だと思います。でも、皆さん長い なるから、慌てて決めないで」と時間をとっ ている方々です。 J数年出品をあきらめ、

退会したい、

という相 配偶者の介護でとても絵を描けない」とこ 絵を描く楽しさをわかっ

ちょっと待ってー



らっしゃいました。退会者の方々はそれぞれ事

が多いのですが、今年は特に退会者が多くい

終わります。いつも年度末には退会する方

示現会の年度は一月に始まり、

に



ぜひ、